

1 団体名 埼玉県立秩父高等学校剣道部

2 代表者 設楽 浩

3 会員数 令和3年度部員数 男子8名 女子4名

4 稽古日 毎週 月曜日～日曜日の週5日程度

時間 平日：午後4時～6時 休日：午前9時～12時

場所 秩父高校剣道場（体育館1階）

5 団体の歴史

●秩父高等学校の沿革、剣道部の発足について

大宮町立裁縫女学校（明治40年）と秩父町立秩父商業学校（昭和12年）との統合により、昭和25年埼玉県立秩父高等学校と改称。歴史の経過による学校・道場の移転等により、剣道部発足に関する資料や歴代指導者の確かな記録は残念ながらありません。剣道部としての活動がどの年代からスタートしたのか不明であるが、OB会初代会長飯島重裕先輩が昭和20年度卒、また、現OB会名簿では昭和30年度卒からのご芳名が確認できる。以下、道場木札より不確実な面があるが歴代顧問・師範を紹介する。

★歴代顧問教諭 中島武章 南輝久雄 持田泰 新井義久 坂本美佐子
大台誠 石橋桂一

★師範・外部指導者 富田正吾 宮原善三郎 原光彦 酒井塩太 内田和助
川田善一郎 加藤秩弥

各年代の部員数の増減はあったが、令和の現代まで、学校教育の一環としての秩父高校剣道部は脈々と受け継がれている。

●主な実績（県大会上位入賞） [埼玉剣連50年史参考]

昭和45年度埼玉県新人大会・男子団体 準優勝

昭和55年度埼玉県剣道大会・女子個人 第三位

昭和58年度埼玉県剣道大会・女子個人 準優勝

昭和58年度埼玉県新人大会・女子団体 第三位

昭和59年度関東大会県予選会・男子団体 第三位（関東出場）

平成05年度埼玉県新人大会・女子団体 第三位

平成05年度埼玉県剣道大会・女子個人 二選手 第三位

平成06年度関東大会県予選会・女子団体 第三位（関東出場）

平成09年度埼玉県剣道大会・男子個人 第三位

平成12年度関東大会県予選会・女子団体 第五位（関東出場）

平成17年度関東大会県予選会・女子団体 第五位（関東出場）

●秩父高校剣道部OB会

発起：平成3年〔令和3年度会長小島光正先輩、事務局飯島政裕先輩〕

会員：剣道部卒業者数431名、現会員数272名（住所不明・物故者除く）

目的：本会は会員相互の親睦を図り、併せて秩父高校剣道部の振興に寄与する。

活動：①総会及び現役OB交流稽古会

②現役活動援助・関東大会等出場時の特別激励 他

●秩父高等学校創立百周年記念誌(平成19年発行)『剣道部の紹介』より

『伝統の重さ』 前顧問中島章武

秩父高校の剣道場には、377枚に及ぶ卒業生と歴代顧問の氏名を記した木札が掛けてあり、年代の古い木札はくすんでいて重みのある伝統を感じさせる。これらの卒業生諸氏が、社会の各方面において才能を十二分に発揮し、活躍していることは言うまでもない。昭和五十五年、重層体育館一階に新道場ができるまでは、A校舎の東側の講堂で稽古をしていた。ここでの稽古は、時に組打ちになる激しいものであった。夏合宿では、伝統的な一年生対象の夜間稽古もあったし、深夜の肝試しも行われた。夜間稽古では激烈を極めた。稽古後、体内の水分を絞りつくした一年生に西瓜がふるまわれる。それを食べる姿が忘れられない。...一部省略...

『平成二年度以降の活動報告』 前顧問持田泰

平成二年四月より、中島章武先生・南輝久雄先生の後を受けて、歴史と伝統のある剣道部の顧問を十五年間務めさせて頂きました。剣道部の大きな特徴として、卒業生に中学・高校の剣道指導者（教員）が非常に多いという点が挙げられます。その数は県内トップクラスといえます。指導者を志し、それが実現するような環境を創り出していた伝統を汚さぬようにと、常に心がけて指導にあたってきました。毎年熱心な部員に恵まれ、活発に活動を続けることができました。...一部省略... 県大会で入賞した学年に限らず、どの世代の部員も部活動と学業との両立に高校生活

を賭けていました。卒業後の人生の支えとなる三年間を過ごしてもれえたものと確信しています。